

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成24年2月16日(2012.2.16)

【公開番号】特開2011-140525(P2011-140525A)

【公開日】平成23年7月21日(2011.7.21)

【年通号数】公開・登録公報2011-029

【出願番号】特願2011-93358(P2011-93358)

【国際特許分類】

A 6 1 K	45/00	(2006.01)
A 6 1 K	31/198	(2006.01)
A 6 1 K	31/522	(2006.01)
A 6 1 K	47/16	(2006.01)
A 6 1 K	47/26	(2006.01)
A 6 1 K	47/02	(2006.01)
A 6 1 K	47/18	(2006.01)
A 6 1 K	47/14	(2006.01)
A 6 1 K	47/06	(2006.01)
A 6 1 K	47/10	(2006.01)
A 6 1 K	47/12	(2006.01)
A 6 1 K	47/42	(2006.01)
A 6 1 K	9/10	(2006.01)
A 6 1 P	15/10	(2006.01)
A 6 1 P	17/14	(2006.01)
A 6 1 P	17/00	(2006.01)
A 6 1 P	25/00	(2006.01)
A 6 1 P	19/08	(2006.01)
A 6 1 P	17/02	(2006.01)
A 6 1 P	31/12	(2006.01)
A 6 1 P	31/04	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	45/00
A 6 1 K	31/198
A 6 1 K	31/522
A 6 1 K	47/16
A 6 1 K	47/26
A 6 1 K	47/02
A 6 1 K	47/18
A 6 1 K	47/14
A 6 1 K	47/06
A 6 1 K	47/10
A 6 1 K	47/12
A 6 1 K	47/42
A 6 1 K	9/10
A 6 1 P	15/10
A 6 1 P	17/14
A 6 1 P	17/00
A 6 1 P	25/00
A 6 1 P	19/08
A 6 1 P	17/02

A 6 1 P 31/12

A 6 1 P 31/04

【手続補正書】

【提出日】平成23年12月14日(2011.12.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

跛行を有するかまたは跛行の危険がある被験体を処置するための組成物であって、

送達ビヒクル

を含み、該送達ビヒクルは、

一酸化窒素ドナーと、

少なくとも約0.25Mであるイオン強度を有する不利な生物物理学的環境と

を含む、組成物。

【請求項2】

前記被験体の脚部に投与されることを特徴とする、請求項1に記載の組成物。

【請求項3】

前記被験体の足部に投与されることを特徴とする、請求項1に記載の組成物。

【請求項4】

神経障害を有するかまたは神経障害の危険を有する被験体を処置するための組成物であつて、

送達ビヒクル

を含み、該送達ビヒクルは、

一酸化窒素ドナーと、

少なくとも約0.25Mであるイオン強度を有する不利な生物物理学的環境と

を含む、組成物。

【請求項5】

前記送達ビヒクルがクリームである、請求項1～4のうちのいずれか1項に記載の組成物

。

【請求項6】

前記一酸化窒素ドナーが、L-アルギニン、塩酸L-アルギニン、および/またはL-アラギニンの誘導体である、請求項1～5のうちのいずれか1項に記載の組成物。

【請求項7】

前記一酸化窒素ドナー誘導体がL-アルギニンメチルエステルである、請求項6に記載の組成物。

【請求項8】

前記一酸化窒素ドナー誘導体がL-アルギニンブチルエステルである、請求項6に記載の組成物。

【請求項9】

前記一酸化窒素ドナーが約0.05重量%～約2.5重量%である濃度で存在する、請求項1～8のうちのいずれか1項に記載の組成物。

【請求項10】

前記不利な生物物理学的環境が、少なくとも約1Mであるイオン強度を有する、請求項1～9のうちのいずれか1項に記載の組成物。

【請求項11】

前記不利な生物物理学的環境が、塩化ナトリウム、塩化コリン、塩化マグネシウム、また

は塩化カルシウムのうちの1種以上を含む、請求項1～10のうちのいずれか1項に記載の組成物。

【請求項12】

前記不利な生物物理学的環境が尿素を含む、請求項1～11のうちのいずれか1項に記載の組成物。

【請求項13】

前記不利な生物物理学的環境が糖質を含む、請求項1～12のうちのいずれか1項に記載の組成物。

【請求項14】

前記不利な生物物理学的環境が、少なくとも約1000であるオクタノール-水分配係数を有する成分を含む、請求項1～13のうちのいずれか1項に記載の組成物。

【請求項15】

前記オクタノール-水分配係数が約10⁻³未満である、請求項14に記載の組成物。

【請求項16】

前記不利な生物物理学的環境が、塩化ナトリウム、塩化カリウム、塩化コリン、塩化マグネシウム、および塩化カルシウムのうちの1種以上を含む、請求項1～15のうちのいずれか1項に記載の組成物。

【請求項17】

前記不利な生物物理学的環境が、少なくとも約9であるpHを有する、請求項1～16のうちのいずれか1項に記載の組成物。

【請求項18】

前記不利な生物物理学的環境が、約5未満であるpHを有する、請求項1～16のうちのいずれか1項に記載の組成物。

【請求項19】

前記pHが約3～約11である、請求項1～16のうちのいずれか1項に記載の組成物。

【請求項20】

前記一酸化窒素ドナーが、約0.05重量%～約25重量%である濃度を有する、請求項1～19のうちのいずれか1項に記載の組成物。

【請求項21】

前記送達ビヒクルが、水、鉛油、グリセリルステレート、スクアレン、プロピレングリコールステアレート、麦芽油、ステアリン酸グリセリル、ミリスチン酸イソプロピル、ステアリン酸ステリル、ポリソルベート60、プロピレングリコール、オレイン酸、酢酸トコフェロール、コラーゲン、ステアリン酸ソルビタン、ビタミンA、ビタミンD、トリエタノールアミン、メチルパラベン、アロエベラ抽出物、イミダゾリジニル尿素、またはプロピルパラベンのうちの1種以上をさらに含む、請求項1～20のうちのいずれか1項に記載の組成物。

【請求項22】

前記送達ビヒクルがNSAIDをさらに含む、請求項1～21に記載の組成物。

【請求項23】

前記NSAIDがイブプロフェンを含む、請求項22に記載の組成物。

【請求項24】

前記送達ビヒクルが、ナプロキセン、セレコキシブ、レフェコキシブ、モルヒネ、プロポキシフェン、オキシコドン、またはヒドロコドンのうちの1種以上をさらに含む、請求項1～23のうちのいずれか1項に記載の組成物。